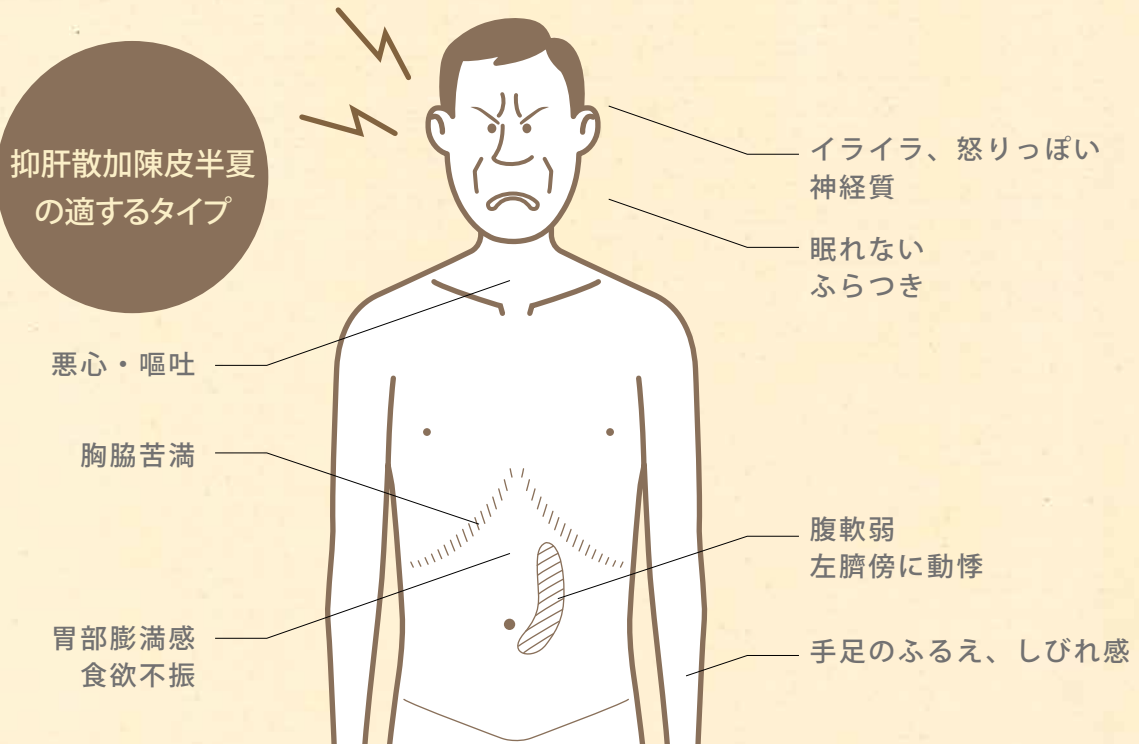


抑肝散加陳皮半夏 について

監修：日本TCM研究所 安井 廣迪 先生

イライラ・憂うつ・怒りっぽい・眠れないなどの神経がたかぶった症状を訴える人で、食欲不振、悪心・嘔吐、疲れやすいなどを伴う場合に用います。



抑肝散加陳皮半夏
の適するタイプ

抑肝散加陳皮半夏の臨床応用

- **認知症**
記憶障害、行動・心理症状 (BPSD*1)
- **精神神経科領域の諸症状**
易怒、易興奮、焦燥感、不安、不眠
- **小児神経症**
疳症(チック、夜泣き、引きつけ)

抑肝散加陳皮半夏は抑肝散の加味方の一つです。抑肝散は本来、小児の夜泣きやむずがりなどのいわゆる「疳の虫」のために創案された処方です。原典には育児にあたる母親にも配慮する「母子同服」の記載があります。現在では、不眠症や頭痛、倦怠感などの精神・神経症状を中心に成人にも広く用いられています。

抑肝散加陳皮半夏は抑肝散に「陳皮」と「半夏」を加えたもので、わが国での臨床経験から考案された日本独自の処方です。陳皮・半夏が加わることで、悪心・嘔吐・胃内停水などの消化器症状に対する改善や、抑うつ気分のさらなる改善が期待されます。抑肝散が用いられる患者より虚証*2で、腹力低下し、腹部大動脈の動悸が目立つ場合は本剤のタイプ(証)となります。

よくかんさん かちんぴほんげ 抑肝散加陳皮半夏 (日本経験方)

抑肝散 ほえいさつよう (保嬰撮要)

| | |
|-----|--|
| 釣藤鈎 | [熄風止痙] 筋肉の痙攣・手足のふるえ・ひきつりなどを改善。 |
| 柴胡 | [疏肝解鬱] 鎮静作用があり、いらいら、抑うつ感などをしずめる。 自律神経系の緊張を緩和する。 |
| 川芎 | |
| 当帰 | [活血・調経] 血行を促進する。鎮痛にはたらく。 |
| 茯苓 | [利水消腫・止瀉] 水分バランスを調整する。 |
| 白朮 | |
| 甘草 | [補気健脾] 消化吸収を高める。 |
| 陳皮 | [化痰・化湿・解鬱] 制吐、止嘔にはたらき、蠕動を調整して消化吸収をさらに高める。 痰の産生を抑制。 |
| 半夏 | |

*1 BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) : 認知症患者にしばしば出現する知覚や思考内容、気分あるいは行動障害のことをいい、具体的には幻覚・妄想などの精神症状や徘徊・暴力などの行動異常といった周辺症状を指します。

*2 虚証とは、人体を構成する精微物質が不足している状態。抵抗力の低下、疲れやすい、悪心・嘔吐の消化器症状などがあらわれます。

Kracie



twice or three times a day 選べるやさしさ



スティックで、健やかな暮らしへ

クラシエ 薬品株式会社

[資料請求先] 〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

クラシエ医療用漢方専門ウェブサイト「漢・方・優・美」 <http://www.kampoyubi.jp>

■各製品の「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。 2012年12月作成